

学生たちの活動拠点にして 交流の場となるフリースペースが充実

1期側の建物も、階段やエレベーターなどの縦動線付近の屋内外にちょっとしたラウンジスペースを設けていましたが、2期側の新棟にも学生の居場所となる二つのフリースペースを設置。それが1階の「クリエイティブゾーン」と5階の「ラーニングコモンズミュージアム」です。「クリエイティブゾーン」はミニイベントやプレゼンテーションスペースとしても活用でき、より広い「ラーニングコモンズミュージアム」には小上がりがあり、寝転んでくつろぐことができます。ともに利用時間は平日の8時から20時。学生たちの憩いの場となるとともに、自発的な活動による交流や発見が生まれることを期待しています。



5F ラーニングコモンズミュージアム



小上がりがあり、研究疲れの学生たちにリフレッシュの場として重宝されています。



1F クリエイティブゾーン



空き時間にくつろぐのにぴったり、テーブルやチェアは自由に動かすことができ、ミニイベントやプレゼンテーション空間としても使えます。



窓が大きく、ブラインドを開けるとても景色が綺麗。向かいに見えるのは7号館です。世田谷キャンパスで最も高い位置にあるラーニングコモンズミュージアムは、見晴らしが最高です。

学生コメント



お話を聞いた機械工学科の学生たち。「5階にあるから見晴らしが良くて気持ちいい」「空き時間のときにここに来ると誰かに会える」「学生フォーミュラのサークル活動をしているが、その打ち合わせもここでできる」などと、とてもこのスペースを気に入っていました。

新10号館の注目スポット



方位マーク (円形階段塔跡)

2期建物側の吹抜け部にあるタイルでできた方位マークは、旧10号館の象徴だった円形階段塔をデザインとして残したものです。2枚だけタイルの色が異なりますが、これは間違いではなく、実はメッカの方向を示しています。

外廊下&連絡通路

実験研究棟特有のダクトやメンテナンスデッキを、外観デザインに巧みに取り込んだ新10号館。建物面積を最大限に確保するため回廊式の外廊下を採用しているのも特徴で、2期建物側への連絡通路はメッシュと縦格子を合わせたより安全性を配慮したデザインに。



マンホールトイレ

2期建物の北側のマンホールは下水道に直結しており、災害時には便座と TENT を設置することで、学生や近隣の方々の災害時対応トイレとして利用することができます。



サクラロード

新10号館と9号館の間にある明るくレンガ色の外通路は、キャンパスを南北に貫く動線の一部。近隣の方もここを通ることができます。通路の脇には2023年の11月に桜が植えられ、春には桜並木が楽しめます。

凸凹ベンチ

敷地内通路にはところどころベンチも設置。9号館の食堂のガラス張りスペースと呼応するようなデザインで、お昼時にはここで弁当を食べる学生も。ベンチの下には照明が入っており、夜間には外通路を明るく照らします。



芝生広場

2期工事竣工後、新10号館南側の芝生広場も完成。少し窪んでいるのは、大雨が降った時に、周辺の水がここに集まるように設計されているからです。ステージがあり、将来はイベントスペースとしての活用も考えています。

